

新型コロナウイルス感染症対応による教育事業の実施方針について

2020. 5. 19 国立曾爾青少年自然の家

国立曾爾青少年自然の家では、新型コロナウイルス感染防止と新型コロナウイルスを想定した「新しい生活様式」に対応した受入体制として、当施設の取組と教育事業参加する上での留意事項を以下のとおり作成しました。参加者の皆様が安心・安全にご参加いただけるよう、ご理解とご協力をお願いします。

1. 当施設の取組

- ◇ スタッフ（職員およびボランティア）の体調管理を徹底し、体調不良者は事業にはかかりません。
- ◇ 宿泊を伴う教育事業につきましては、8人定員の宿泊室に4人以下の収容を上限の目安とし、ゆとりある宿泊室の配室や食事、入浴ができるようにします。
- ◇ スタッフはマスクを着用して指導いたします。また、飛沫が飛ばないように工夫をいたします。
- ◇ 利用者玄関・正面玄関等に、手指消毒用のアルコールを配置します。
- ◇ レストランは座席定数の50%（約120席程度）とし、向かい合わないようテーブルの片側のみを利用して座席配置します。
- ◇ 食事の提供は、従来どおりセルフサービス方式で行いますが、レーンの片側のみを利用し、前の人との間隔をあけて行います。
- ◇ 屋内活動の際は、活動場所の定期的な換気（1時間に5～10分程度）を行います。
- ◇ 活動については、参加者同士の距離をとり、身体接触を極力減らした活動をします。
- ◇ 共用で使用する備品については、活動を終えるごとに消毒作業をします。
- ◇ 野外炊事についてはマスク着用で行い、加熱処理をするメニューのみ提供します。
（食器類については今まで同様、使用後は加熱消毒して使用提供します）

2. 参加について

①申込時

- 入所日から2週間以内に発熱や咳、だるさ（倦怠感）、頭痛、腹痛（下痢）、体調不良等の諸症状が無い方のみ参加可能です。あてはまる場合は参加をご遠慮ください。
- 外国への訪問歴が2週間以内にある方の参加はご遠慮ください。
- 緊急事態宣言の対象地域にお住まいの方のお申し込みはご遠慮ください。

②準備物

- マスク、うがい用コップ、体温計を持参してください。※体温計の持参が難しい場合はご相談ください
- ジェットタオルは使用停止します。手洗い後のタオルやハンカチを必ずご準備ください。

③参加当日・受付時

- 受付で検温いたします。当日朝の検温も行ってください。
- （参加費が必要な場合）お釣りのないように、封筒に名前を入れてご準備ください。
- 送迎バスを利用する際、間隔を取って着席していただきます。スタッフの指示に従ってください。
- 館内に入る際は、入口でのアルコール消毒にご協力ください。

④プログラム中

- 近距離での会話や発声、高唱は、避けるようにしてください。※主催者も注意して進行します。

⑤生活時

- こまめな手洗い・うがいを励行するように指導いたします。
- レストラン内では、食べるとき以外はマスクを着用してください。
- 1日2回（起床時、就寝前）の検温、健康チェックを実施し、健康状態を確認します。

3. お子様へ（子ども対象の事業に参加する場合）

- ご家庭で、手洗いやうがいの練習や、咳エチケットについてお話ししておいてください。
- 具合が悪くなった時はがまんせずにスタッフに伝えるようにお話しください。お子様の気持ちによりそって対応するようにいたします。

4. その他

- 発熱、咳、だるさ（倦怠感）等の症状があった場合は直ちに職員に相談ください。
- 上記の場合、主催者としてコロナウイルスに感染したことを想定して対応します。ご了承ください。
- 体調不良になった場合は速やかにご帰宅いただきます。そのために、お迎えをお願いする可能性があることをご了承ください。（参加者が高校生以上の場合、駅までの交通等、帰宅に支障がある場合の支援はいたします）
- 退所後2週間以内に利用者の新型コロナウイルスへの感染が発覚した場合は、速やかに当施設へ連絡してください。
※濃厚接触者となった場合には、2週間を目安に自宅待機の要請が行われる可能性があります。

なお、参加者の安全を考慮し、周辺の状況に応じて、中止や延期の急な判断をさせていただく可能性があります。

上記のような対応で、事業を実施します。参加に対する（移動に伴うリスクも含む）リスクと上記の対応をご了解いただいた上でお申し込みください。